

吉野町内の指定文化財

令和6年8月末日現在

※本一覧表作成に当たっては、に文化遺産データベース (<http://bunka.nii.ac.jp/>)、『奈良県指定文化財目録』(奈良県教育委員会文化財保存課編) および国指定文化財等データベース (https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html) を参照した。備考欄の作成にあたっては、※から始まるもの以外は、前述のデータベース等を参照している。

※個人所蔵のものは、一覧表に挙げていません。

●国指定文化財(国宝)

種類	文化財名	読み	員数	指定年 (最新の変更)	所有者	時期	所在	備考
建造物	金峯山寺本堂	きんぷせんじ ほんどう	1棟	1902 (1953)	金峯山寺	桃山 /1591	吉野山	桁行5間、梁間6間、一重裳階付、入母屋造、檜皮葺。吉野の蔵王堂として有名なもので、室町時代中期の作。東大寺大仏殿に次ぐ大建築である。
	金峯山寺二王門	きんぷせんじ におうもん	1棟	1906 (1953)	金峯山寺	室町中期 /1456	吉野山	三間一戸二重門、入母屋造、本瓦葺。附指定あり
彫刻	木造玉依姫命坐像	もくぞう たまよりひめ ざぞう	1軀	1901 (1956)	吉野水分神社	鎌倉 /1251	吉野山	像内に建長三年十月十六日の銘
考古資料	大和国金峯山経塚出土品	やまとこく きんぷせんき ょうづか しゅつどひん	1括	1901 (2023)	金峯山寺	平安 /1007		京博勧告
	金銅藤原道長経筒	こんどう ふじわらのみち なが きょうづつ	1口	1902 (1952)	金峯神社	平安 /1007		京博勧告 寛弘四年八月十一日在銘。金峯山経塚出土。
書籍典籍	金峯山経塚出土紺紙金字経	きんぷせんきょうづか し ゅつど こんしきんじきよ う	1括	2023 (2024)	金峯山寺	平安		藤原道長筆、藤原師通筆 寛弘四年奥書などあり 令5.6.27 国宝より分割・追加
			1括	1948 (2024)	金峯神社	平安		藤原道長筆、藤原師道筆 長徳四年七月奥書などあり

●国指定文化財（重要文化財）

種類	文化財名	読み	員数	指定年	所有者	時期	所在	備考
建造物	吉野水分神社	よしのみくまりじんじゃ	6棟	1901	吉野水分神	桃山 /1605	吉野山	本殿、拝殿、幣殿、楼門、回廊（南）、回廊（北） 附指定有
	吉水神社書院	よしみずじんじゃ しょういん	1棟	1915	吉水神社	義経の間： 1333-1392 玉座の間： 1573-1614	吉野山	懸造、桁行 30.2m、梁間 13.9m、一重、南面入母屋造、北面切妻造段違、西面軒唐破風付、北面及び西面北半部庇付、檜皮葺
	金峯山寺銅鳥居	きんぷせんじ どうとりい	1基	1941	金峯山寺	室町中期 /1393-1466	吉野山	銅製明神鳥居 ※地元での呼称は“かねのとりい”
	宝篋印塔	ほうきょういんとう	1基	1957	山口区	鎌倉後期 /1278	埴山口	石造宝篋印塔 鎌倉時代中期建治四年の建立、宝篋印塔としては古いものに属し、様式の変遷を知るによい資料である。
	吉野神宮	よしのじんぐう	26棟 3基	2022	吉野神宮	明治、昭和	吉野山	本殿、祝詞舎、楽舎、裏門及び透塀、神庫、拝殿、廻廊、内玉垣、神門、神符授与所、宿衛舎、摂社御影神社本殿、摂社船岡神社本殿、摂社瀧櫻神社本殿、摂社拝殿、東門、外玉垣、表手水舎、裏手水舎、修祓所、神饌所、井戸屋形、制札屋形、大鳥居、裏鳥居、参集殿
絵画	絹本著色千手千眼観音像	けんぼん ちゃくしよくせんじゅせんげんかんのんぞう	1幅	1903	金峯山寺	鎌倉		奈良博寄託
	板絵著色廻船入港図額	いたえ ちゃくしよくかいせんにゆうこうずがく	1面	1972	金峯山寺	江戸 /1661	吉野山	万治四年の銘あり。
その他、個人蔵で指定を受けているものが5件ある。								

彫 刻	木造天万栲幡千々 姫命坐像	もくぞう あめのよろずた えはたちちひめのみこと ぎぞう	1 軀	1901	吉野水分神社	平安	吉野山	※読み方は『吉野町史』による。
	木造童子立像 伝普成、普建	もくぞう どうじりゅうぞ う	2 軀	1915	金峯山寺	鎌倉	吉野山	
	木造蔵王権現立像 (蔵王堂安置)	もくぞう ざおうごんげん りゅうぞう	3 軀	1986	金峯山寺	桃山 /1590	吉野山	金峯山寺蔵王堂本尊像で、内陣厨子内の三間にそれぞれ一軀ずつ安置され、中尊が7m、左右の像もそれぞれ5mを超える巨像である。
	木造蔵王権現立像 (安禅寺旧本尊)	もくぞう ざおうごんげん りゅうぞう	1 軀	1986	金峯山寺	鎌倉	吉野山	蔵王堂内の東北隅に安置される客仏である。像内の修理銘札から、明治維新後に廃絶した、現在金峯神社のある愛染と呼ばれる地にあった安禅寺の本尊であったことが知られる。
	木造聖徳太子立像	もくぞう しょうとくたい しりゅうぞう	1 軀	1990	金峯山寺	鎌倉	吉野山	附指定有
	厨子入木造蔵王権 現立像	ずしいり もくぞう ざお うごんげん りゅうぞう	1 軀	1901	如意輪寺	鎌倉 /1226	吉野山	左足柄に嘉禄二年九月巧匠筑後檢校源慶等の朱書銘がある。
	木造五智如来坐像	もくぞう ごちによらい ぎぞう	5 軀	1903	大日寺	平安	吉野山	
	木造地藏菩薩坐像	もくぞう じぞうぼさつ ぎぞう	1 軀	1915	桜本坊	平安	吉野山	
	木造役小角像	もくぞう えんのおづぬ ぞう	1 軀	1915	桜本坊	南北朝	吉野山	
	銅造釈迦如来坐像	どうぞう しゃかによらい ぎぞう	1 軀	1916	桜本坊	奈良	吉野山	
木造金剛力士立像	もくぞう こんごうりきし りゅうぞう	2 軀	2014	金峯山寺	南北朝	吉野山	各像内に仏師名として「康成」の銘がある。また、阿形像内に延元三年十二月、吽形像内に延元四年十一月	

								の銘がある。 東大寺南大門像に次ぐ大きさと、近世まで大作を多く手がけた奈良仏師の巨像制作の技量をよく示す作例である。附指定あり。
その他、個人蔵で指定を受けているものが1件ある。								
工 芸	金銅五鈷鈴	こんどう ごこれい	1口	1973	金峯山寺	平安	吉野山	奈良博勸告 鑄銅鍍金、撫肩の鈴身の四周に三鈷杵・蓮華杵・羯磨を鑄出した五鈷鈴。優美な形姿は典型的な平安時代末期の五鈷鈴であることを示している。
	色々威腹巻	いろいろおどしはらまき	1領	1901	吉水神社	南北朝	吉野山	
	銅燈籠	どうとうろう	1基	1915	金峯山寺	室町 /1471	吉野山	文明三年九月十一日の銘あり。
	金銅装笈	こんどうそう おい	1背	1924	金峯山寺	室町	吉野山	
	梵鐘	ぼんしょう	1口	1959	金峯山寺	平安	吉野山	永暦元年〈康/辰〉九月廿日、鑄物師散位船是守等の鑄出銘及刻銘がある
	鉄鐺卒塔婆透シ	てつぱ そとばすかし	1箇	1925	金峯神社	室町	吉野山	附指定あり
	その他、個人蔵で指定を受けているものが4件ある。							
書 籍 典 籍	御消息紙本墨書 伝後醍醐天皇宸翰	ごしょうそく しほんぼく しょ でん ごだいごてん のう しんかん	1巻	1897	吉水神社	南北朝	吉野山	
	紙本墨書慶長十九 年五山衆試文稿	しほん ぼくしょ けいち ょうじゅうくねん ごさん	1双	1909	竹林院	江戸		奈良博寄託 六曲屏

		しゅ しぶんこう						
	花鳥餘情	かちょう よせい	15冊	1979	阪本龍門文庫	室町	上市	卜書 文明十年春一条兼良書写奥書
	日本感靈録抄	にほん かんれいろくしょう	1冊	1968	阪本龍門文庫	平安 /1147	上市	久安三年二月五日書写奥書
	万代和歌集	まんだいわかしゅう	6冊	1961	阪本龍門文庫	鎌倉	上市	第六冊 宝治二年夏比撰定畢云々奥書
	平等院経蔵目録	びょうどういん きょうぞう もくろく	1帖	2008	阪本龍門文庫	平安	上市	
その他、個人蔵で指定を受けているものが2件ある。								
考古資料	線刻蔵王権現鏡像	せんこく ぎおうごんげん きょうぞう	1面	1953	金峯山寺	平安	吉野山	奈良博勧告 金峯山経塚出土
	奈良県金峯山経塚出土品	ならけん きんぷせんきょうづか しゅつどひん	1括	1953 (2024)	金峯神社	平安 /1007	吉野山	奈良博勧告 旧名称・大和国金峯山経塚出土品
史跡	宮滝遺跡	みやたきいせき		1957			埴宮滝	
	大峯奥駈道	おおみねおくがけみち		2002			吉野山 ほか	
史跡名勝	吉野山	よしのやま		1924			吉野山	
天然記	妹山樹叢	いもやまじゅそう		1928			大字 河原屋	

念物								
無形民俗文化財	吉野の樽丸製作技術(吉野の樽丸製作技術保存会)	よしののたるまるせいさくぎじゅつ		2008				保存会が吉野町に所在。

●国登録文化財

種類	文化財名	読み	所有者	時期	所在	備考
建造物	本善寺 本堂 以下 11 件	ほんぜんじ ほんどう	本善寺	江戸中期等	梓飯貝	
	吉野神宮 表鳥居	よしのじんぐう おもてとりい	吉野神宮	昭和 14 年		
	北岡本店酒蔵東棟		北岡本店	昭和		
	北岡本店酒蔵西棟					

●国選定保存技術

個人で3名の方が認定されている。また、1件の認定団体に入っている業者が町内にある。

●県指定文化財

種類	文化財名	読み	員数	指定年	所有者	時期	所在	備考
建造物	天満神社本殿	てんまじんじゃ ほんでん	1棟	1951	天満神社	江戸前期	吉野山	三間社流造、檜瓦葺 附指定あり。
	阪本仙次別邸白雲荘	さかもとせんじ べつてい はくうんそう	5棟	2014	吉野山保勝会	昭和	吉野山	
彫刻	木造釈迦如来坐像	もくぞう しゃかによらい ざぞう	1軀	1985	金峯山寺	平安	吉野山	
	木造釈迦如来立像	もくぞう しゃかによらい りゅうぞう	1軀	2004	金峯山寺	鎌倉	吉野山	
	木造大日如来坐像	もくぞう だいにちによらい ざぞう	1軀	1969	東南院	平安	吉野山	
	木造阿弥陀如来立像	もくぞう あみだによらい りゅうぞう	1軀	1993	弘願寺	鎌倉	吉野山	
絵画	紙本著色吉野曼荼羅	しほん ちゃくしよく よしのまんだら	1幅	2006	如意輪寺	室町	吉野山	
	絹本著色吉野曼荼羅図	けんぼん ちゃくしよく よしのまんだら	1幅	2020	金峯山寺	鎌倉	吉野山	
	絹本著色不動明王二童子像	けんぼん ちゃくしよく ふどうみょうおうにどうじぞう	1幅	2021	桜本坊	平安後期	吉野山	
工芸品	銅梵鐘	どうぼんしょう	1口	1992	意運寺	鎌倉	佐々羅	
	黒漆金銅装神輿	こくしつ こんどうそう しんよ	1基	2017	吉野水分神社	桃山	吉野山	附指定あり

古文書	大峯葛城入峯日記	おおみね かつらぎ に ゆうぶ につき	4冊	2024	阪本龍門文庫	桃山～江戸	上市	
	個人蔵で指定を受けているものが1件ある。							一部奈良博寄託
考古資料	菅生寺五輪塔納置品	すぎょうじ ごりんと う のうちひん		1984	菅生寺	鎌倉		奈良博寄託
	宮滝遺跡出土品	みやたきいせき しゅ つどひん	1621 点	2012	吉野町	縄文	宮滝	
史跡	龍門寺塔跡	りゅうもんじ とうあ と		1954			山口	
名勝	大蔵神社庭園	おおくらじんじゃ て いえん		1973	大蔵神社		南国栖	
天然記念物	津風呂神社のサカキカ ズラ	つぶろじんじゃのさか きかづら		1953	津風呂神社		津風呂	
	山口のツルマンリョウ	やまぐちのつるまんりょう		1953	高銓神社		山口	
	イワツバメの越冬地	いわつばめのえっとうち		1973			上市	
	桜本坊のギンモクセイ	さくらもとぼうのぎん もくせい	1株	1967	桜本坊		吉野山	
	その他、個人蔵で指定を受けているものが2件ある。							
無形民俗文化財	金峯山寺の蓮華会	きんぷんせんじ の れ んげえ		2004	蓮華講			附指定有
	国栖奏	くずそう		1978	国栖奏保存会		南国栖	
	国栖の太鼓踊り	くず の たいこおどり		1988	国栖区		国栖	

●町指定文化財

種類	文化財名	読み	員数	指定年	所有者	時期	所在	備考
彫刻	木造役行者坐像	もくぞう えんのぎょうじゃ ざぞう	1 軀	1996	桜本坊	鎌倉	吉野山	
古文書	金峯山寺文書	きんぷせんじ もんじよ	1 件	2004	金峯山寺	室町～	吉野山	
無形民俗	小名の花笠行事	こな の はながさぎょうじ		1978	小名自治会		小名	
	吉野水分神社の御田植神事	よしのみくまりじんじや の おたうえしんじ		1978	吉野水分神社		吉野山	

町内所在指定・選定・登録文化財件数（令和6年8月27日時点）

	国 宝					有形文化財 国指定の場合は重要文化財。 県指定以下は指定有形文化財。								記念物				無形民俗文化財	選定保存技術	登録建造物	総 合 計
	建造物	彫刻	書籍典籍	考古資料	小計	建造物	美術工芸品					考古資料	小計	史跡	名勝	史跡名勝	天然記念物				
							絵画	彫刻	工芸品	書籍典籍	古文書										
国指定	2	1	2	2	7	5	7	12	10	8	-	2	44	2	-	1	1	1	-	-	56
国選定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
国登録	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	14
県指定	-	-	-	-	-	2	3	4	2	-	2	2	15	1	1	-	6	3	-	-	26
町指定	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-	2	-	-	4

※※ 吉野山は、当初から史跡名勝で指定されているため「史跡名勝」で1件としている。

※ 地域を定めず指定された特別天然記念物カモシカとオオサンショウウオの生存が確認されているが、上記一覧には反映していない。

※ 無形民俗文化財は、吉野の樽丸製作技術の保護団体吉野の樽丸製作技術保存会が吉野町に所在しているため、上記一覧に反映している。